



校報

斐伊の子

木次中学校区のめざす子ども像

- ・ふるさとに愛着をもち、多様な他者と進んで関わる子ども
- ・心身ともに健康で、しなやかさとたくましさのある子ども
- ・自ら判断し、生き生きと表現する子ども

めざす子ども像：学び合う子・助け合う子・元気な子

令和4年2月22日 発行 文責：校長

自分用のパソコンがやって来た

雲南市から児童一人一人に学習用タブレット端末が貸与されました。斐伊小では1月24日に「開封の儀」と呼ばれる使い始めの式を行いました。当初の計画では、体育館に集まって「開封の儀」をする予定でしたが、新型コロナウイルスの感染急拡大により、オンラインを併用して各教室で行いました。各教室では、雲南市教育委員会の景山教育長や校長の話聞いた後、基本的なルールや使い方などを学習しました。

右にある写真は使い始めて間もない頃の写真ですが、今では、朝自習などの時間にタイピング練習をしたり、社会科や理科の時間の調べ学習に活用したり、クラブ活動の時間に写真クラブが撮影に使ったりしています。

また、3年生以上は毎日家庭に持ち帰っています。家庭学習で調べ学習に活用したり、インターネットに接続しなくても使用できるソフトを使ってプログラミング学習をしたりしている子どももいるようです。新しい学習方法が始まり、教員もまだまだ手探り状態ですが、学習効果を高めるために活用していきたいと思います。



【使い方を練習する2年生】



【オンライン健康観察を試す3年生】



画面越しの交流会

1月27日（木）に、木次町内の4小学校の6年生がオンライン交流会を行いました。昨年度に引き続きオンラインによる交流会になったのは、コロナ禍の影響もありますが、雲南市から一人一人に貸与されたパソコンを活用するという目的もありました。

交流会前半は、昨年度と同じように各学級の紹介をしました。チャット機能を使って「よろしくおねがいします」「いいね！」などのメッセージを送りながら学級紹介を見る児童もいました。

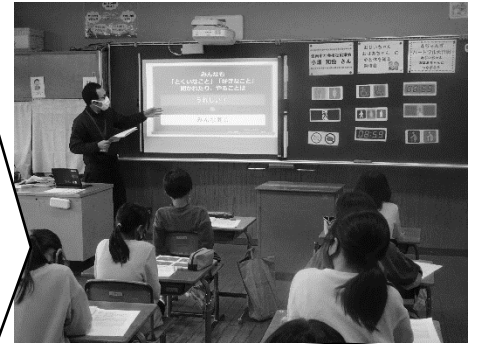
後半は、予め決めてあったグループごとに自己紹介をしたり質問をし合ったりする時間でした。左の写真にあるように、一人一人がイヤホンやヘッドホンをしているので話している内容のすべては分かりませんでしたが、会話が盛り上がっている様子や楽しそうに交流している姿が印象的でした。終わった途端に「楽しかった～！」という声があちこちから聞こえたことから、良い交流会だったことが分かりました。

福祉学習をしたよ

2月9日（水）と16日（水）に、雲南市社会福祉協議会の方を講師にお招きし、4年生が福祉について学習しました。

9日の学習は「高齢者の心と体講座」でした。まず、高齢になると気分が落ち込みやすくなったり、体が思うように動かなくなったりすることなどについて説明を聞きました。その後、視野が狭くなるように作られた特殊ゴーグルをかけて校舎内を歩いたり、手袋をしたまま新聞紙や学習資料をめくったりするなどの活動をとおして、自分がやりたいようにできないときのイライラする気持ちやあきらめたくなる気持ちなどの心理状態を疑似体験しました。

16日の学習は「認知症サポーター養成講座」でした。認知症の可能性のある方をサポートする際の7つのポイント（後ろから声をかけない、目線を合わせて話す、穏やかに話しかける^{など}）について寸劇を交えて教えていただきました。受講した4年生は「認知症サポーター」の証のオレンジ色のシリコンリングを身に付け、今後、サポーターとして活動することになります。頼もしいですね。



なかなかめくれないよ～!



この写真は2月17日（木）の給食時間に放送室前で撮ったものです。整然と並んでいる様子の美しさに、思わずカメラを向けました。並んでいる靴は、給食時の校内放送をする当番のものです。履物をそろえることについては、前校長先生も大事にいらっしゃったことですが、指導を続けてもなかなか定着しないことの一つです。しかし、写真のように、あたりまえのことをさりげなくできる児童が確実に育っていることが分かり、とてもうれしく、誇りにさえ思います。

3月の予定

1（火）	学習公開日、学級懇談会	11（金）	全校4校時授業
	令和4年度PTA地区委員会	14（月）	全校5校時授業
	計算会	16（水）	卒業式予行練習
4（金）	地区児童会	18（金）	卒業式
8（火）	書取会	24（木）	修了式、離任式
9（水）	スクールカウンセラー来校日	25（金）	春休み始まり